



ロータリーの
マジック

2024-25 年度 RI テーマ

THE MAGIC
OF ROTARY

国際ロータリー会長
ステファニー A. アーチック

Weekly Bulletin

藤枝南ロータリークラブ 会報

例会：毎週金曜日
会場：小杉苑 藤枝市青木 2-35-30
TEL：054-641-3321

事務局：藤枝商工会議所内
TEL：054-646-3919 FAX：054-643-2000
E-mail：jimukyoku@fujieda-south-rotary.jp

2024-25 年度
会長：漆畑雄一郎 副会長：鈴木寿幸 幹事：中山恵喜 副幹事：加藤智之

例会 第 1574 回 通常例会/小杉苑

ソング：我らの生業、ふるさと ソングリーダー：秋谷貴也君

■ 会長挨拶

漆畑雄一郎君



先週は例会がお休みでしたので、2 週間ぶりとなりますが、この間、ロータリーの事業や行事がありませんでしたので、特段の報告はありません。今日は少し文章を用意してきたので読み上げたいと思います。

「11 月に入り、季節はすっかり秋から冬へと移り変わろうとしています。日々の寒暖差が大きくなっていますが、皆さまお変わりなくお過ごしでしょうか。

さて、ロータリークラブにおいて 11 月は「ロータリー財団月間」とされています。ロータリー財団は、私たちのクラブ活動を通じて、地域社会や国際社会に貢献するための大切な支えとなる存在です。たとえば、教育支援や健康増進活動、そして平和を目指す取り組みなど、財団を通じたプロジェクトは多岐にわたります。こうした活動をより実りあるものにするためにも、今一度財団の意義を考え、寄付や協力について積極的に取り組んでいきたいと考えています。

また、私たち一人ひとりの行動が社会にどのような影響を与えるのかを考えるのも、この月の良い

機会です。互いに協力し合い、さらに充実した活動を展開できるよう、引き続きご尽力いただければ幸いです。」

これは chatGPT に「ロータリー・11 月・あいさつ」とお題を投げて作ってもらった文章です。改めて AI の進化に目を見張るものがありました。皆さんも業務で利用する機会があれば是非使ってみてください。

11/22 は小雪でした。雪が降り始める頃で冷たい北風が木々の葉を落とし、橘の実などの柑橘類は黄色く色づいてきます。お世話になった方に、感謝の気持ちを贈る「お歳暮」の準備をする期間でもあります。七十二候は虹蔵不見（にじかくれてみえず）、朔風払葉（きたかぜこのはをはらう）、橘始黄（たちばなはじめてきばむ）です。

■ ビジター



静岡第 4 グループ

ガバナー補佐

若林秀典君

ガバナー補佐事務局長

竹田敏和君

IM 実行委員長

飯田敏之君

をテーマにしています。これはロータリーの One Profits Most Who Serves Best 「その仲間に最もよく奉仕する者が多く報いられる」の言葉に通ずるものがあるような気がします。

会員の皆様には多大なご負担、ご協力をお願いすることになります。よろしくお願いいたします。

■ Pre PEELS 報告



鈴木寿幸君

約2週間前の11月16日(土)にZoom開催のプレ-ペルスが開催され、加藤、次年度幹事と参加しま

したので、代表して報告させていただきます。

Zoomでの開催は、入室12:30 開催は13:00からの2部構成で第1部は、(静岡RC)浅原諒蔵(りょうぞう)次期地区ラーニング委員会委員長から「次期クラブ会長候補者へのロータリークラブの現状」についての講演があり6項目の教示がありました。

まず初めに、クラブ組織の名称変更について、丁寧な説明がありました。

「トレーニングからラーニング」ということで「短期間の一方通行の研修から自らが学び継続的に成長していくラーニング」に変更しましたとのことでした。

地区の名称も、

・「クラブ研修リーダー」は「クラブ・ラーニング・ファシリテーター」

・「地区研修リーダー」は「地区ラーニング・ファシリテーター」

・「地区研修委員会」は「地区ラーニング委員会」に変更し、参加者を中心に据え、進めていくとの内容でした。

2つ目は、「会長エレクト研修セミナー」の名称変更についてです。会長エレクトセミナー(Presidents-Elect-Training-Seminar)の頭文字からPETS(ペッツ)呼ばれておりましたが、「トレーニングからラーニング」に名称を変更し、「会長エレクトラーニング・セミナー」(Presidents-Elect-Learning-Seminar)

PEELS(ペルス)へと名称の変更の報告があり、今回が第1回目のペルスの開催になりました。

3項目は、「国際ロータリーの現状」についての報告でした。

世界全体の会員数は、2024年3月は、1,181千人と4年前の2020年比で△36千人と約3%の減少、日本国内では2024年3月は83千人、4年前は88千人でしたので、約5千人(5.7%)の減少がありました。

クラブ数は、世界全体では、37千クラブと1千クラブ増加しているとの報告がありました。

4項目目は、「3-YEAR-Rolling Goals」についての説明がありました。

2024年7月1日より、ゾーン・地区・クラブに対して「3か年目標を立ててプランを実施」してください。ロータリークラブセントラルに「複数年目標のダッシュボード」を刷新して、一覧表示できるようにするとの話でした。

3年間の目標は、今までのロータリーは、単年度主義、単年度会長の方針による活動計画を積み上げてきましたが、「3か年程度の目標を定め、単年度計画に留まらない」活動に変更し、明確な目標と目標達成の検証ができれば、クラブが地域に適した目標を設定することで、地域での存在感が高まり、会員の増加につながるとの熱意を持った説明がありました。

5項目には、「クラブ会長の役割、就任のための準備」についての話でした。

2025年3月までに次のことを準備してくださいとの話でした。

- ・クラブの各委員長を任命する。
- ・予算を作成し、財務を管理する。
- ・ガバナー月信を始めとするガバナーからの通知や情報を会員に周知する。
- ・ラーニングセンターから会長に関するオンラインセミナーを受講する。
- ・3か年のクラブの奉仕計画をクラブ役員と協議し準備する。

最後は、2024-25年度 RI 会長エレクトについての人物説明でした。

2024-25年度 RI 会長エレクトは、マリオ・セザール氏

ブラジル・サンパウロロータリークラブに在籍

- ・印刷業界のビジネスコンサルタント
- ・軍学校に通い、ロータリーの青少年交換プログラムで米国に留学
- ・ブラジルのグラフィック技術協会や印刷産業協

会の会長等、多要職多数

・1980年 23歳でロータリーに入会(現在67歳)
理事と管理委員長を歴任

・趣味は、読書(歴史・伝記の本)、大のワイン通。
浅原 地区ラーニング委員長の説明後のメッセージは「行動を通じて、変化を生み出す」ぜひ、行動して、変化を生み出してくださいとのメッセージで締めくくられました。

次に(伊東西 RC) 稲葉ガバナーエレクトから次年度に向けてのメッセージがありました。

2025-26年度、地区運営に向けて稲葉さんの考え方を知ってほしいということで、「親睦からの笑顔で奉仕」とのスローガンの発表がありました。

会長エレクトラーニングセミナー(PELS)は2025年3月22日(土)会場は、伊東市観光会館で開催しますので、準備をして出席してください。新設された「行動計画推進委員会」と「DEI委員会」の説明がありました。

各委員会の活動計画、目的は、漆畑会長から説明があると思いますので割愛させていただきます。

2025-26年度 地区大会の説明がありました。

2025-26年度地区大会は、12月6日(土)7日(日)に開催予定で準備を進めております。

12月6日(土)は、マリリンモンローも宿泊した伊東市「川奈ホテル」

12月7日(日)は、2020東京オリンピックの自転車競技の会場となった、伊豆市「伊豆ペロドローム」での開催予定との報告があり14:30分に第1部が終了し、休息(10分)をはさみ第2部は14:40分の開催となりました。

第2部は、中村皇積 地区行動計画推進リーダーからの「効果的なクラブ戦略計画とこれからのクラブ運営」について(30分)

渡邊 郁 次期地区DEI委員長からのDEI委員会の取組について(15分)

小川嘉洋 次期地区幹事から「ガバナー公式訪問日程案」について

藤枝南クラブ公式訪問日 2025年8月29日(金)の予定

周年事業・IM開催予定日が示されました

周年事業

- ・1960年9月6日 65周年(焼津RC)
- ・1976年2月26日 50周年(焼津南RC)
- ・1976年1月20日 50周年(掛川RC)
- ・1991年6月24日 35周年(藤枝南RC)

2025-26年度 IM開催日

静岡第4グループ(焼津RC) 2025年10月4

日(土)焼津文化会館

今回のプレペルスにZoom開催ではありましたが、参加させていただき会長エレクトとして準備しなければいけない事項等、について、明確に示していただきましたので、大変有意義なラーニングセミナーでありました。

例会プログラム

例会日	クラブ行事	摘要
12/6(金) 第1575回	クラブ年次総会	理事会
12/13(金) 第1576回	会員卓話	小杉苑
12/20(金) 第1577回	夜間例会	小杉苑
1/8(水) 第1579回	新年賀詞交歓会	小杉苑

■ 今週の一言

松浦正秋君

行ったところ、行きたいところ



スペインのバルセロナです。15年ほど前に子供たちを連れて家族旅行先として訪ねました。

世界遺産である建築家アントニ・ガウディが手がけたサグラダ・ファミリア(聖家族教会)を見るためです。建設途中でクレーンが数本立っていましたが、本当に素晴らしい建物で感動しました。

バルセロナは地中海に面していて気候が穏やかで、食べ物が大変美味しく、世界遺産が多く存在する街です。

昨年、ラグビーワールドカップ観戦でフランス旅行のプランを立てる際、隣国であるスペインバルセロナの再訪問を計画しました。前回の訪問から10数年の年月が過ぎ、教会の建築用クレーンは1本になり、完成が近くなったと感じました。この旅は妻と二人でしたので、バルと呼ばれる居酒屋のような飲み屋へ寄りました。バルではタバ

スという小皿料理を堪能しました。欧米を旅行する際、食事のボリュームの多さに閉口することが多いのですが、タパスは程よい量で多くの種類を楽しむことができ、快適でした。

何年か後に教会が完成した暁には、また訪れたいと考えております。

2025-2026 年度地区委嘱状



(担当/鈴木照竟君)